

全国保育実践交流連絡会ニュース

2022年8月発行 東北地区

朝、晩はとても涼しくなり虫が鳴き秋の気配を感じます。東北も青森、北宮城、福島の地域でそれぞれに活動をしています。

～水害のお見舞ありがとうございました～

この度は、2022年7月15日～16日に当地を襲った集中豪雨による水害の被害に際しまして早々にご厚情あふれるお見舞い金を賜り、厚くお礼申し上げます。

さくら保育園ではホールの床半分・物入れの部屋とヒーター2か所・0歳児室の一部棟が床上浸水となりました。16日(土)は、保育園を休園し、翌日に職員一同で片付けを行い、19日(火)には一部現在は通常保育に戻りつつあります。皆様の心あたたまるお見舞い、心より感謝申し上げます。略儀ではありますが、書中をもちましてお礼かたがたご報告いたします。

宮城 さくら保育園 園長 渡邊恵子

青森地域

「リズム学習会」～3年ぶりに深野静子氏学習会～

6月26日(日)に是川保育園、花巻太陽の子保育園、よつば保育園、ひなた保育園の4園の保育士25名が参加しました。初めてリズム学習会に参加する保育士もあり、土台のリズムを中心に大切なポイントを押さえて、丁寧に教えて頂きました。広い空間で思いっきり体を動かし、心地良い汗を流した午前中。午後は保育園に戻り“さくら・さくらんぼ保育 どの子も育つ”についてお話し頂き、その年令の発達など分かりやすく説明して頂いて学びの深い一日となりました。久しぶりに深野さんと皆さんに会うことができた喜びと楽しい時間を過ごすことが出来ました。



「感想」

今年から1年目に入り、是川保育園の保育方針やさくらんぼ保育のことについてなど新しい環境が多くあり、まだ慣れていない部分はあります。リズムだったり、さくらんぼ保育のことについてこれからもっと理解を深めて子どもたちに何が必要か、何を大切にしたいか、子どもにとっての幸せは何かなど、少しずつゆっくり見つけていければと思います。リズムは今日正しくなぜこの動きをするのかなど詳しく教えて頂き、これからリズムをする時、室内での遊びで活かしていきたいと思います。(是川保育園)

午前のリズムでは今回はピアノを弾いたので意識して弾くところやテンポなどまだまだ学習不足だなと感じました。自園以外のリズムを見ることがほとんどないので、様々な園のリズ

ムを見て学習したいです。そして自分もリズムで動きたかったと思いました。午後の学習会では生きる意欲を育てることや食っちゃ寝の大事さ等、分かっているはずなのに目の前の大変なことばかり目についてしまい、改めてこの保育で何が大切か、何を育てていきたいか、保護者のサポート等気付くことができました。深野さんのまると認めて肯定されている姿にいつも自分もそうなりたいと思います。3年ぶりにお会いできてとてもうれしかったです。

(ひなた保育園)

福島地域

山口平八氏を招いての学習会

今年度1回目の福島0歳児部会は、令和4年7月14日(木)の午前10時から午後4時、郡山市ビックアイにて、講師に山口平八氏をお迎えし、7園より17名の参加がありました。

午前中の実践報告では、各園から気になる子への対応など様々な質問が出され、講師より緊張や固さがある子ども、体に弱さを抱えている子どもへの関わり方や介助の仕方について助言を頂きました。午後の『移動運動機能の発達』の講話では、寝返り、腹這い、四つ這い、歩行の促し方や関わり方、月齢による発達などについて学びました。

< 感想 >

今回は山口先生から日々の保育に即した話が聞けて、とても実りある部会となりました。子どもの体を緊張させる3つの要因としては、“生活リズムの乱れ、電磁波の影響、子どもの発達段階に合っていないことをさせること”という話があり、少しでも緊張の要因を取り除けるように、職員間の共通理解を深め、保護者にも繰り返し伝えながら、取り組んでいきたいと思います。また、子どもたちと関わるうえで大事なこととして、子ども自身がどう育とうとしているかを考え、発達段階に応じた対応をしていくことが大切で、特に0、1、2歳児は“子どもの内から育っていく感覚、エネルギーを信じて自然の発達を出やすくしていくことが保育”という言葉が印象に残りました。一人ひとりの発達をしっかりと捉え、個々に応じた関わり方ができるように、今後も学びを深めたいと思います。(なごみ保育園)

夏の交流合宿 裏磐梯松原キャンプ場 7月21日(木)～22日(金)さくらこ保育園・西口保育園



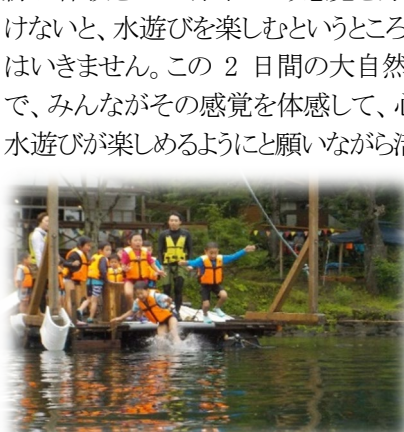
ボートに乗って出発！



おやつは湖上の栈橋で



ビッグサップに乗って遊ぶ



栈橋からの飛び込み



キャンプ場に到着

何年も泊まりで川遊びを楽しんできましたが、ここ数年は、大雨の増水などの影響で中止にすることが多く、雨の影響を受けずに自然体験ができる場所を探し求めていました。ようやく出会えた松原キャンプ場は、磐梯朝日国立公園にある裏磐梯松原湖畔にあるキャンプ場です。そこは車で行くことができない大自然に抱かれた静かなキャンプ場でキャンプ場へは、ボートに乗っていきます。子どもたちは風を切って進むボートに大興奮！大人の私たちでさえも、無人島に行くようなワクワクした気持ちになりました。大人も足がつかない深さでの

湖での水遊びは、身体も心も開放して脱力ができないと恐怖心だけが大きくなってしまいます。自分で実際に体験をして“浮く”という感覚を身に着けないと、水遊びを楽しむというところまではいきません。この2日間の大自然の中で、みんながその感覚を体感して、心から水遊びが楽しめるようにと願いながら活動や生活をしました。湖上の栈橋

からの飛び込みや、いかだ遊びを通して、身も心も開放して遊べるようになりました。交流保育の素敵な所は、他園の友だちが背泳ぎをする姿や、栈橋から助走をつけて勢いよく水に飛び込む姿に刺激を受け子どもが自ら「自分もやってみよう！」と心を動かされ、挑

戦することです。食事は湖や磐梯山が一望できる場所でいただき、泊りはバンガローでした。2日目は雨の降る中で少し水が冷たく感じましたが、キャンプ場のオーナーさんがドラム缶風呂を用意して下さり、心も身体もホッと温まることができました。

すっかり保育園のファンになってしまいました。着替えも、荷物整理も1泊2日全て自分でやる幼児さんたち。先生はせかさず、励ましの声をかけて見守る。これって、できそうでできない。遊ぶ時は、先生が率先して楽しむ。雨の中の水遊びは寒かったでしょうが、先生はずっと笑顔。そんな保育園で過ごしている子どもたちの目は輝いているし、すごいしっかりしている。子どもたちの行動力、思考力を最優先！手を出しすぎず見守る！だから子どもたちが生き生きしてしっかりしている。見えていて勉強になる。素晴らしい保育だと感じました。先生方も素晴らしい。孫ができれば、さくらこ(西口)保育園に入りたい。キャンプ場のオーナーさんより



湖を見ながらの食事



ドラム缶風呂



湯かげんはどうだい？

宮城地域

さくら保育園

さくら保育園では、7月28日～30日に、気仙沼市大島で錦保育園と2泊3日の海合宿を行いました。自園の年長児は今年2名なので、錦保育園の13名の年長と一緒に海遊びや生活を共にし、関りを深め、海遊びを存分に楽しむことができました。

全国的にコロナの感染者数が増えていく中ではありましたが、夏祭りも時短と保護者の人数制限を行う事で、中止せず行いました。おみこしや各クラスの出し物、親父の会による出し物やヨーヨー釣り等を楽しみました。年長のちょうちんは、当日正面に飾り、皆に見てもらい嬉しそうにしていた2人の姿が印象的でした。



石巻たから保育園

3月末コロナ感染の幼児が出、卒園式が出来ず、4月第一日曜日に年度超えの卒園式をすることになった。新年度4月、園児58名でスタートし、8月現在で0才入園で59名でそれぞれに元気に活動しています。しかし、全国、県内も感染者が急激に増え、当園でも8月中旬に3名の感染者が出て、対応に追われています。こうした中で、8月26日夏祭りを開催することができました。年長のくじら組が提灯を完成し、前日点灯式をして完成をお祝いしました。

夏祭りでは、年長が法被を着て神輿担ぎ、4才は自分たちで作った神輿を担ぎ、にぎやかに祭りが開催されました。各年令ごとの歌の発表、年長の竹太鼓、荒馬、さらにお店屋さんごっこにぎやかに元気でお祭りを楽しんでくれました。夏祭り計画当初は保護者にも参加を予定していましたが、感染者が出ていることから、園児だけの祭りとなりました。こうした機会に幼児の活動の様子を見てもらい、保育の理解と協力を深めてもらいたいと願っていましたが残念なことです。それでも、年令別に説明懇談会をしてきましたが、さらに秋に掛けてこの懇談会を継続していく予定です。今後は、年間行事に従って予定の行事を遂行し、幼児の発達に務めてゆく決意でいます。



尾花沢スイカをいただいたので夏祭りにすいか割りをしました



提灯の下でうたをうたいました

げんき保育園

8月1、2日、花山でくるみの木保育園と一緒に沢遊びをしました。公共の施設を利用したの宿泊でしたが、他団体と密にならないよう日程を調整するなど配慮しながら行いました。2日間とも天候にも恵まれ、存分に遊ぶことができ、歓声をあげ泳いだり、飛び込んだり笑顔で楽しんでいました。夏祭りは、時間を短縮し、世帯数も少ないので夕方のお迎えの時間に合わせ保護者が参観できる形で行いました。親たちは子どもが歌う様子をみたり、神輿かつぎを拍手で応援したり、打ち上げ花火をしたりと、短時間ではありますが一緒に楽しむ時間をもつことができました。

保護者と子どもの姿を通して喜びや、嬉しさを共有する時間を大切にしながら、焦らず積み上げていきたいと思っています。

くるみの木保育園

8/5(金)3年ぶりに子どもたちと一緒に夏祭りを行うことが出来ました。ほうねん座の舞台・おみこし・盆踊り・打ち上げ花火、おやつはかき氷と保護者は入れませんでした。例年に近い形で作り上げることが出来て、子どもたちも職員もみんな笑顔の夏祭りになりました。8/7に園児のコロナ陽性が初めて出て、その日から約2週間は増えていく感染に心配の毎日でした。お陰様で重症化する子どももなく、感染した家族の皆さんも軽症ですぐに体調も戻り大丈夫との連絡を頂き、ほっと胸をなでおろしたところでした。これからいつ、どこから感染が広がっていくかわかりませんが、職員・保護者とコンタクトを取りながら、子どもたちにとってどのようなやり方だったらいいのか話し合い、今年度も充実した一年にしていきたいと思っています。



石巻ひがし保育園

・8月19日～20日にかけて年長児のみが洞源院で夏合宿を行い、海遊びや夕食作りをした。
・年長は生活の見通しが以前よりは自分で気づける子が出てきたが、分かっている行動しない子、気付かない子もあり、そのたびに同じグループの子が教えに行ったり、近くの子が教えてくれたりしており、子ども同士の話し合いも積極的に行っている。
・石巻市内のコロナ陽性者数もかなり増えており、職員の身内や園児の家族、そこから派生して職員自身も感染してしまうなど以前の休園時ほどの多さではないものの近くに影が見えているそのため1つ1つの行事に対して開催の有無・内容の詳細を職員全員で話し合い、日々の活動や行事等を行っている。



錦保育園

夕方からの鈴虫の鳴き声に秋の気配を濃厚に感じられるようになりました。コロナの足音は休みなく近づく感じがありますが、子どもの成長も待たなし。政府のコロナ対策の無策さに呆れながらも、日常の保育を大事にしています。7月28～30日には年長の海合宿(10名の親の協力を得て)をさくら保育園の年長と合同で行い、あまりにも気持ち良かったので8月8日には4歳児を、17日には3歳児の子どもと海遊び(どの年齢も親の協力は有難いですね！)。27日には夏祭り(年長親の焼きそば、職員のかき氷、学童のみんなから保育園の子どもに水ヨーヨーの贈り物)、今年は初めて大人が子ども乗せてワッショイの神輿、子どもの笑顔の清々しいこと。ほうねん座の太鼓、獅子舞(頭をガブリと『疫病退散』)荒馬。拍子、歓声。例年のように屋台が並ぶわけではなかったですが、楽しい一時でした。

今、錦の中でどんな子ども像、どんな子どもを育てたいのかということを意識して生活しています。①「話すことに抵抗のない子どもを育てる大事さ」②「大人は聞くことが大事。(話を聞くことと相手に聞くこと)。どんな時も、どんな場でもみんなの幸せを求める生き方をする為には、まずは①と②を大事にする保育園生活と意識してます。